

平成24年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	2	関 伸 久	3月5日午前
2	12	木 村 靖 枝	
3	20	諸 岡 皓 二	午後
4	10	広 兼 義 烈	
5	19	宮 内 欣 二	
6	8	長 岡 肇太郎	
7	16	中 村 洋 一	3月6日午前
8	22	横 山 秀 二	
9	3	西 中 忍	午後
10	13	斉 藤 眞 治	
11	5	大 村 赳 夫	
12	9	中 野 伸	
13	24	世 良 眞名夫	3月7日午前
14	1	佐々木 武 夫	
15	4	椋 晶 雄	午後
16	11	松 尾 義 人	
17	23	西 元 勇	

質問順位	1	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>農業振興には、まず農業をもうかるビジネスにすることだ。</p> <p>1．農産物の直販・宅配ができる体制整備が必要だ。</p>	<p>民主党政権のTPP参加交渉表明以降、俄然注目を集める日本の農業。外国産の安価な農産物が日本に流入し、日本の農業は崩壊するのではないかとの危機感も募り、前回の萩市議会の12月定例会でも多くの議員が一般質問に登壇された。</p> <p>現在、TPPは事前協議の段階であり、その概要等についてはうかがい知ることはできないがTPPへの参加・不参加にかかわらず、日本の農業は世界と向き合っていかなければ、人口減少時代が到来している国内需要だけではますますじり貧だ。</p> <p>すでにTPP参加以前に崩壊している日本の農業であるが、日本の農業分野への投資が決して少ないわけではない。OECDによれば、2010年の農業生産に対する農業補助率は、農業先進地とされるEUの2割に対し、日本は5割である。農林水産省によれば、これまで6兆円におよぶ農村のインフラ整備を行ったとされるが、さしたる成果は表れておらず、耕作放棄地は増える一方である。</p> <p>翻って萩市である。これまで萩市も積極的に農業振興に注力してきた。がしかし、どちらかと言えば川上分野、つまり生産者や担い手サイドへの政策投資が多いのが特徴だ。それは来年度（平成24年度）の予算概要からも見てとれる。予算額の大きいところでは、就農円滑化対策事業補助金に13,200千円、ふるさと萩回帰応援事業補助金で10,600千円、中核的担い手育成支援事業に10,000千円、特定農業団体育成支援事業に40,000千円と大きな金額はすべて川上分野への投資だ。これまで通りのことをやって、さしたる成果がないのであれば、投資先を変えることも必要だ。川下分野、つまり流通分野へ投資することも打開策の一つである。その具体案を提示したい。</p> <p>それは、農産物の直販・宅配サービスである。</p> <p>例えば、萩市内の旅館・ホテルや飲食店等に萩市地域の農産物を個別に直販・宅配する体制がつかれないだろうか？</p>		

	<p>要は農業のSPAである。生産・流通・販売のすべてを行うことで、6次産業化にもつながり、ビジネスとしてのメリットも享受できる。</p> <p>ここ萩市において、観光客を相手に飲食業を営む業者の心理は、「できるだけ萩のもの（農産物）を観光客に食べさせたい」であるが、実態はそうではない。利便性や価格優位性から市内のスーパーに行けば、他県産の農産物が並ぶ。これが実態だ。</p> <p>しかし、直販・宅配ができる体制を整備すれば、流通マージンを排除しつつ、地産地消を強力に推進することができる。何よりも飲食店は農産物を調理して提供する為、不揃いな農産物も許容できる。そして、これが機能してくれば、飲食店のみならず各家庭への個別配送も視野に入り、マーケットが広がる。</p> <p>また消費者サイドに近づけば、消費者が求める農産物がダイレクトに伝わる為、計画的かつ効率的に生産できる体制も整う。</p> <p>農業を取り巻く環境は厳しいが、ビジネスとしてとらえれば勝機はいくらでもある。そして、もうかるビジネスになれば、必然と従事者は現れる。農業振興の一番の解決策は、それをもうかるビジネスにすることである。川上戦略は間違っていないが、併せて消費マーケットを創造する川下戦略も必要だ。</p>
<p>2．新規就農者へのインフラ投資は十分だ。問題はこれをどう対外的にPRするかだ。</p>	<p>これまで萩市は市内外からの後継者の誘導と定住対策を進めてきた。これは既存農家の後継者保護という意味合いもあるが、農業には縁もゆかりもないが、ここ萩市においてビジネスとして農業を行いたいという意欲ある若者を誘導することも過疎対策上からも必要である。問題は、これまで萩市が投資してきた政策インフラをどう対外的にPRしていくかである。その諸施策についてお伺いしたい。</p>
<p>3．担い手不足の解消と生産効率化には企業参入が欠かせない。振興策は？</p>	<p>農家の平均年齢はもはや65歳を超えている。担い手不足は深刻であるが、それを解消するもう一つの手段として企業（株式会社）の農業参入も急がれる。資本金のある企業の参入により、規模拡大に伴い生産の効率化や新規雇用等が期待できる。萩市としても、企業参入を促す施策が必要と思料するが、今後の展望をお伺いしたい。</p>

<p>4 . 耕作放棄地には 厳正な課税が必要 だ。</p>	<p>耕作放棄地は全国では合計40万ヘクタールあり、農地全体の約1割を占めると言われる。ここ萩市においても状況は深刻だ。これを解消するには、実態に基づいた厳正な課税を行い、その解消に努めるべきと思料するが、その判定は農業委員会に委ねられているのが現状である。固定資産税の課税権者として萩市はどうかかわっていくのか、市長の所見をお伺いしたい。</p>

質問順位	2	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．施政方針（産業の振興）について	1．第一次産業農林漁業再生元年と位置づけられています が、水産業、沿岸漁業への施策の展開と観光振興について		
2．農林行政について	1．後継者対策について 2．T P P（環太平洋経済連携協定）対策について		
3．環境行政について	1．漂着ごみの処理状況について 2．市民との協働によるボランティア活動について		
4．商工行政について	1．東回り萩循環まあるバスの運行ルート を反射炉下まで延長できませんか。		

質問順位	3	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市の財政・経費削減について	1. 太陽光発電パネルの設置について 2. 市の封筒に民間企業等の広告記載募集について		
2. 防災対策について	1. 防災訓練について		
3. 市職員のモラルと市長の指導責任について	1. 職員の接客マナーについて 2. 職員の通勤手当と駐車場の問題について 3. 市長の職員に対する指導責任について		

質問順位	4	質問者	広 兼 義 烈 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．地方交付税に関して問う	<p>1．「地方交付税の額の算定の特例」の適用期間は平成26年度まで、その後5年間漸減期間があり一本算定になるという理解でいいか。</p> <p>2．23年度の合併算定替による地方交付税額（12月補正現在、128億4千万円計上）の旧町村別の交付税額を示していただきたい。</p> <p>3．一本算定した場合の額はどのくらいになるのか。</p> <p>4．合併算定替の特例があるということは、その間において新市の基礎固めをすべきというのが法律の目的だと思う。そこで今後の特例期間に主にどのような施策を講じられるのか問う。</p>		
2．市税の課税に関して問う	<p>1．市税の納期限までの納付率はどの程度か。</p> <p>2．23年度の市税の収納率をどの程度に設定し、達成の見通しはどうか。</p> <p>3．収納率を限りなく100%に近づけることが当然としてもなかなか厳しいようである。徴収についてどのような課題・問題があるのか。</p> <p>4．その課題・問題解決にどのように取り組まれているのか。</p> <p>5．自主財源が乏しいなか、貴重な財源であるだけに収納率の向上を期待する。</p>		
3．人口定住への取り組みに関して問う	<p>1．2010年に実施された国勢調査は萩市にとっては大変厳しい結果である。</p> <p>現在の人口維持を前提に人口減少率を鈍化させなくてはならない。そのためには人口定住策を一層充実させる必要がある。今後の施策について問う。</p> <p>2．人口問題は短期間で解決できるような問題ではない。長期的な方策が必要で、また、その方策は多岐にわたることが想定される。そこで今回は基本的な考え方について問う。</p> <p>3．次に、24年度の具体的な取り組みについて問う。</p> <p>4．2060年の日本の人口は今の3割減の8,674万人程度になると推計されている。</p>		

	<p>萩市はどうかというと数字に表したくないほど厳しいものになることが予想される。そうならないよう市の経済を活性化させ、経済を大きくし、財を生まなくてはならない。</p> <p>今後、民間との連携を一層密にすべきと思うがどうか。</p>

質問順位	5	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. あいつく職員の事件をどう考えるか		1. 消防職員の万引き事件の対応はどうか。 2. 職員の懲戒処分に対する不服申し立てがあった背景をどう考えるか。 3. パワーハラスメントなど、精神的ストレスにつながる要因の解消について 4. この数年来、職員に関わる事件が続発している。その背景に何があると考えるか。	
2. 住民自治・市民参画のまちづくりについて		1. 住民自治・市民参画のまちづくりについての市長の認識を問う。 2. 行政の中にどのように徹底するのか。	
3. 住民生活の利便性向上への支援について		1. 磁気ヒアリンググループ整備の推進 2. 地域交通手段の確保について	
4. 原発の危険から抜け出る自然エネルギー推進について		1. 原発から抜け出し、萩市に豊富にある自然エネルギーを活用したエネルギー供給基地になるような取り組みの推進についての市長の見解を聞く。	

質問順位	6	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 教育行政	1. 小規模校に体験的な学習、学習過程の工夫について 2. 学校施設整備関連事業の早期取り組みについて		

質問順位	7	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 保健福祉行政	1. 目標を定めて、健康診断等の受診率の向上を 2. 国保人間ドッグの受診期間の拡大を 3. 土・日・祝日など受診機会の拡大を		
2. 玉江河川公園ヘリポートへのアクセス道の整備について	1. 市内35箇所のドクターヘリ用のランデブーポイントの一つですが、ヘリポートを目前にしてから迂回するアクセス道の凹凸が激しく、救命に当たられた医師や看護婦、患者家族の方から救命に対する感謝の言葉と同時に、路面の悪さについての厳しい指摘がされて久しいが改善されないのはなぜか。		

質問順位	8	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災の備え、安心・安全対策について	1. 標高表示及び標高マップの活用について (1) 電柱、交通安全支柱表示 (2) マップの作成及び便利帳への挿入 2. 緊急時のAED設置箇所の標示について		
2. 川上地域「望郷半島」の整備について	1. 「望郷半島」の市道整備について 2. 「望郷半島」の説明看板のリフレッシュ 3. 看板のある地域の伐採及びヤマザクラ整備について 4. 「望郷の碑」周辺整備について		

質問順位	9	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．人口減少問題について	1．萩市の抱える最大の懸案である人口減少問題に取り組む姿勢について		
2．子供の健全育成推進施策について	1．不登校傾向にある児童・生徒に対する市教委や学校の対応について 2．この問題に対する今後の取り組みについて		

質問順位	10	質問者	斉藤真治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高齢者対策について（高齢者への肺炎球菌ワクチンの助成について）	1. 肺炎球菌ワクチン接種への公費助成制度の創設について（高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の定期接種化と公費助成は）		
2. 防災体制の確立について（避難訓練の実施計画及び萩市災害対策本部と各避難所との連携について）	1. 防災訓練の実施計画及び実施時期について 2. 各避難所への避難初動要員の配置について 3. 各地域の自主防災組織との連携と役割分担について 4. 「災害用井戸」の確認及び登録について 5. 各避難所近辺の事業所との防災支援協定（協働）について		

質問順位	11	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 懲戒処分と公平審理について	1. 平成23年12月28日、課長補佐級職員について減給10分の1、1ヶ月の懲戒処分があった。この事案は、公平委員会に係属している。不利益処分に係る不服申し立て事件として係属している。この事案の経緯と公平審理の原則について聞く。		
2. 渡辺蒿蔵旧宅オープンについて	1. 4月プレオープン、7月グランド・オープンと聞く。回想法を念頭に、認知症ケア施設としての活用が計画されている。旧宅の適地性等について検討がされたと思うが、提案から決定にいたる経過を聞く。 2. 旧宅は、歴史的環境形成総合支援事業補助金を使って整備された。萩まちじゅう博物館構想の中での位置づけについて改めて聞く。		
3. 元寇の遺物や元寇に関係する施設といわれるものについて	1. 大井馬場にある元寇の礎石や大井鷓山の石罫は、元寇関係のものといわれている。伝承に考古学知見や歴史的知見の光をあてるお考えはないかを聞く。		

質問順位	1 2	質問者	中野伸議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1 . 市政について		1 . 任期半ばではあるが、市長、続投の声にどうこたえるか。	
2 . 農業再生について		1 . 法人化と農業法人への支援は 2 . 有機農業の推進は	
3 . 観光行政について		1 . 陶芸の村公園整備にあわせ、田床山いこいの広場を結ぶ観光開発を！ 2 . 博物館、重要伝統的建造物群保存地区等への明確な案内標識を	
4 . 文化財行政について		1 . 指定文化財保存修理について (1) 問田益田氏旧宅土塀及び西中学校土塀の補修について	
5 . 交通安全対策について		1 . N H K ラジオアンテナ前の交差点に信号機設置を	

質問順位	13	質問者	世良真名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高齢者福祉について	1. 老人ホームの整備拡充について		
2. 障がい者福祉について	1. 障がい者の住宅改装について		
3. 保育行政について	1. 保育園の園歌の作成について		
4. 高校再編について	1. 奈古高校の存続について		

質問順位	14	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 災害時における障がい者支援について	1. 防災拠点型地域福祉避難所スペース整備のすすめを		
2. 若者就労支援について	1. 就労にはハンディがあり、弱い立場の若者への働く側の立場に立った就労支援、職場づくり施策を		
3. 再生可能エネルギー開発の積極的な取り組みについて	1. 災害時や事故から人命を守る明るい灯のともるまちづくりに向けた太陽光発電等を活用したエネルギー地産施策の積極的な取り組みを		

質問順位	15	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の防災について	<p>東日本大震災から1年がたちました。この大災害から多くの議員が市の防災について質問・提言をしまして、執行部でも対応をされたと思います。</p> <p>改めて、市の防災対応の現状を点検しておくべきかと考えます。防災には市民の積極的参加が必要と思いますが、市の防災の点検と対応についてお尋ねいたします。</p>		

質問順位	16	質問者	松尾義人議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 上下水道の整備について	1. 萩市の上下水道普及の現況と今後の整備について 2. 三見地区の水道整備について		
2. 三見(眼鏡)橋周辺の環境整備について	1. 三見(眼鏡)橋及び周辺の道路整備について 2. 三見(眼鏡)橋周辺の河川整備について		
3. 教育行政について	1. 武道必修化について		

質問順位	17	質問者	西元 勇 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 鳥獣被害防止策について	1. モンキードッグ認定犬の組織化と今後の活用について問う。		
2. 文化財行政について	1. 国指定史跡見島ジーコンボ古墳群の整備について問う。		